平成29年度募集さきがけ研究提案書

**様式の記入に当たっては「記入要領」を必ずご確認ください。**

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

(さきがけ - 様式1)

区分４

|  |  |
| --- | --- |
| 応募研究領域名 | 情報科学との協働による革新的な農産物栽培手法を実現するための技術基盤の創出 |
| 研究課題名 |  |
| 個人研究者氏名 |  |
| 所属機関・部署・役職 |  |
| 研究者番号 |  |
| 学歴(大学卒業以降) | (記入例)平成◯◯年　◯◯大学◯◯学部卒業平成◯◯年　◯◯大学大学院○○研究科修士課程○○専攻修了　　　　　　(指導教員：○○○○教授)【記入必須】平成○○年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了　　　　　　(指導教員：○○○○教授)【記入必須】平成○○年　博士(○○学)(○○大学)取得 |
| 研究歴(主な職歴と研究内容) | (記入例)平成◯◯年～◯◯年　◯◯大学◯◯学部　助手○○教授研究室で◯◯◯◯◯について研究平成◯◯年～現在　　◯◯研究所　研究員○○博士研究室で◯◯◯に関する研究に従事 |
| 個人研究者の情報 | URL： |
| 応募の類型 | □数理・情報科学型□農学・植物科学型□分野連携型 |
| 連携提案の有無 | □あり（連携先研究者決定　連携先研究者氏名：　　　　　　　）□なし（連携先研究者が本研究領域の本年度提案者ではない場合、検討中・未定の場合もこちらにチェックを入れてください。） |
| 希望する研究費 | 全研究期間での研究費希望総額 (　　　　　　万円)※間接経費を含まない額を記入してください。 |
| 希望する参加形態 | □兼任　　　□専任　※e-Rad入力と合っているかどうかの確認をお願いします。  |
| 本提案のエフォート | 今年度：　　％ |
| 研究実施場所についての希望 | □現所属機関　□その他(研究実施場所：　　　　　　　　　　　　　　) |

# 研究課題要旨

(さきがけ - 様式2)

## 1．要旨

■「１．要旨」については、募集要項「3.3 研究提案書（様式）の記入要領」における標準的記載と

一部異なっております。本様式に記載しております記入要領に従ってご記入ください。

・研究提案の要旨を、**A4用紙2枚以内**で記述してください。10.5ポイント以上の文字等を使用してください。(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)

・様式2は、主として、書類選考において、

 (a)応募研究領域の趣旨に合致しているか(応募研究領域の目的達成への貢献が見込めるか；主として、5.1.3 選考の観点(1)選考基準(事前評価基準)(109 ページ)のa.およびb.に対応)

 (b)当該研究提案がさきがけ制度の趣旨に合致しているか(主として、5.1.3 選考の観点(1)選考基準(事前評価基準)のc.の趣旨である、高い水準の基礎研究であることとイノベーションの源泉となる先駆的な成果の創出可能性とが両立しているか、に対応)

の観点を評価する上で重要な資料となります。

従って、本様式では、さきがけ -様式3(研究構想)のうち、項目「1．研究の背景・目的」「2.研究内容」に対応する内容を中心に簡潔に記述し、項目3．～7．に対応する内容はそれを理解する上で最小限の記述としてください。(研究構想の妥当性や実現性に係る科学的・技術的な評価は、主としてさきがけ-様式3により行います。)

・また、上記の(a)、(b)の観点から、研究領域ごとに書類選考において第一段選考を行う場合があります。

・評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を入れてください。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

*２ページ以内厳守*

**2．主要論文・招待講演等リスト**

・主要論文・招待講演等リストを、**A4用紙1枚以内(厳守)**で記述してください。(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)

・文字の大きさや行間を調整していただいてかまいません。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

**(1) 主要論文リスト**

・研究提案者の主要論文5件以内を、さきがけ-様式4の1．から選択して記載してください。(記載事項および形式は、さきがけ-様式4の1．と同様としてください。)

・行頭に連番をつけてください。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

**(2) 主要招待講演リスト**

・研究提案者の主要な招待講演5件以内を記載してください(存在する場合のみで可)。

・行頭に連番をつけてください。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

*１ページ以内厳守*

# 研究構想

■「様式３-研究構想」は、募集要項「3.3 研究提案書（様式）の記入要領」における標準的記載と一部異なっております。本様式に記載しております記入要領に従ってご記入ください。

・異分野の評価者にとって理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図表(カラー可)も用いてください。

・「様式3」はPDFに変換された状態で**A4用紙　6ページ以内(厳守)**で記述してください。また、10.5ポイント以上の文字等を使用してください(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります)。　**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

(さきがけ - 様式3)

## 1．研究の背景・目的

本研究提案における研究の目的、当該研究構想に至った経緯、ご自身のこれまでの研究との関連等を記述してください。提案研究を実行できる根拠として、これまでの予備実験結果等があれば、それについても言及してください。**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

## 2．研究内容

本項目では、さきがけ研究で取り組む研究課題とその解決手段、研究課題の推進にあたって予想される問題点とその解決策、研究終了時の達成目標、研究の出口の姿等を記載してください。その際には、各類型に応じて以下の観点を含めて記述していただきますようお願いします。

**■「数理・情報科学型」を選択して提案される方**

① データ入手・活用の手順、数理・情報科学的解析手法

（その解析手法の従来法と比較した強みや、その手法が研究課題の遂行にどのように貢献するかも含め、具体的に説明すること）

② 研究成果の有効性評価・検証の進め方

（具体的に想定することが難しい場合は、現状のおおまかな考えで構いません）

 **■「農学・植物科学型」を選択して提案される方**

① 農学・植物科学的計測等によるデータ取得・活用の方法

（その計測手法の従来法と比較した強みや、その手法が研究課題の遂行にどのように貢献するかも含め、具体的に説明すること）

② 数理・情報科学的解析手法

（具体的に想定することが難しい場合は、現状のおおまかな考えで構いません）

③ 研究成果の有効性評価・検証の進め方

**■「分野連携型」を選択して提案される方**

1. 農学・植物科学的計測等によるデータ取得・活用の方法
2. 数理・情報科学的解析手法

（①②とも、提案研究で用いる計測・解析手法が研究課題の遂行にどのように貢献するかについて、その手法を選択した理由と併せ具体的に説明すること。従来手法と比較した強みを明記できる場合は必ず明記すること。）

1. 研究成果の有効性評価・検証の進め方

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

## 3．連携研究の内容

本項目は、**提案書１ページ目で「連携提案あり」と回答された方は記入必須です。それ以外の方の記入は任意です。なお、「数理・情報科学型」「農学・植物科学型」「分野連携型」どの類型の方同士の組み合わせでも連携提案は可能です。連携提案を行う方であっても、さきがけが個人研究を支援するプログラムであることに鑑み、連携研究テーマの他、自身で遂行すべき研究テーマを必ず含めて提案をいただきますようお願いします。**

本項目では、連携研究テーマはどのようなもので、それをどのように連携研究者と遂行するのかについて具体的に記入してください。その際、提案者ご自身の研究構想実現のための連携先研究者の必要性・有効性、期待される成果を具体的に記述してください。本研究領域では連携内容も評価対象とし、異分野の研究者が互いの研究を深化させるために必要な連携を期待しています。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

## 4．研究の独創性・新規性および類似研究との比較

関連分野の国内外の研究開発動向を含めて、提案研究の独創性・新規性とその関連研究分野における位置づけを記述してください。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

## 5．研究の将来展望

期待される研究成果・創製されうる新技術のほか、**提案研究を「どのように持続可能な農業・栽培へ研究を展開できうるか」**について、将来の社会や環境下での要請を想定した上で、できる限り具体的に記述してください。　**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

## 6．異分野の知見活用による研究展開

「２.研究内容」でもある程度触れられているかと思いますが、提案者自身にとって今後取り入れることが必要な異分野の知見はどのようなもので、それをどのように取り入れ、提案研究のみならず、ご自身の研究テーマを進展することができるかについて本項目で記述してください。特に、「数理・情報科学型」もしくは「農学・植物科学型」を選択して提案される方については、異分野の知見の理解度そのものより、異分野の知見を取り入れることによる研究の展開可能性や知見習得への意欲を重視します。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

## 7．用語の説明

評価者が研究内容を理解するために必要と思われる用語の説明を記述してください。　**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

*６ページ以内厳守*

# 論文・著書・特許リスト

(さきがけ - 様式4)

## 1．主要な論文・著書等

・近年に学術誌等に発表した論文、著書等の業績のうち重要なものを、現在から順に発表年次を過去に遡って記入してください。提案者本人が筆頭著者のものについては頭に＊印を付けてください。

・論文についての記載項目は以下の通りとしてください。

(著書については、これに準じてください。)項目順は自由です。

＜記載項目＞

著者(著者は全て記入してください)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

## 2．参考論文・著書等

・1. 以外に、研究提案を理解する上で必要な関連業績がありましたら挙げてください(提案者本人が筆頭著者のものがあれば頭に＊印を付けてください)。

・論文についての記載項目は以下の通りとしてください。(著書については、これに準じてください。)項目順は自由です。

 ＜記載項目＞

著者(著者は全て記入してください)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

## 3．主要な特許

記載項目は以下の通りとしてください。項目順は自由です。

＜記載項目＞

出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

# 他制度での助成等の有無

＜ご注意＞

(さきがけ - 様式5)

・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

・申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、募集要項巻末に記載されたお問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。

・面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (H29年度 予定)****(3) 〃 (H28年度 実績)** | **ｴﾌｫｰﾄ****(％)** |
| さきがけ | 申請 | 本提案。右側にエフォートを記入すること。 |  |
|  |  | () |  |  | **(1)** 千円**(2)** 千円**(3)** 千円 |  |
|  |  | () |  |  | **(1)** 千円**(2)** 千円**(3)**千円 |  |
|  |  | () |  |  | **(1)** 千円**(2)** 千円**(3)**千円 |  |

・現在受けている、又は採択が決定している助成等について、研究費(期間全体)が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載してください(「受給状況」の欄に「申請」などと明記してください)。

・「役割」は、代表又は分担等を記載してください。

・「本人受給研究費」は、ご本人が受給している金額(直接経費)を記載してください。

・「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)を100％とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率(％)を記載してください。【総合科学技術・イノベーション会議における定義による】。申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、さきがけのみに採択されると想定した場合の、現在受けている助成等のエフォートを記載してください。さきがけのエフォートと、受給中・受給予定の助成等のエフォートを合計して100％を超えないようにしてください。

・必要に応じて行を増減してください。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

# 人権の保護および法令等の遵守への対応

研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

(さきがけ - 様式6)

# 照会先・その他特記事項

## ○ 照会先

当該研究課題についてよくご存じの方を2名挙げてください(外国人でも可)。それぞれの方の氏名、所属、連絡先(電話/電子メールアドレス)をご記入ください。選考(事前評価)の過程で、評価者(研究総括および領域アドバイザー)が、本研究提案に関して照会する場合があります。この照会先の記載は必須ではありません。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

(さきがけ - 様式7)

## ○ その他特記事項

・ 同一の研究領域へ2回目、3回目に応募する場合には、前回の提案との相違点について、記載ください。

・海外での研究実施を希望される場合は、募集要項「3.2.4 応募要件」(59 ページ)をご参照の上、海外での実施を希望する理由を本項に記載してください。

・上記の他、さきがけに応募した理由、研究に際してのご希望、異動予定があるなどご事情その他について、自由に記入してください。

**注意：本ボックスは最終的に研究提案書から削除してください。**

**提出前確認シート（※本シートは削除し、提出しないでください。）**

(さきがけ – 別紙)

**○ 締切に十分余裕を持ってご確認ください**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主な確認ポイント | 詳細 | チェック欄 |
| e-Radに研究者登録が済んでいるか | 「第10章」(319ページ) | □ |
| 研究倫理に関する教育プログラムを修了したか | 「8.1章」(292ページ) | □ |
| 研究総括と利害関係がないか※ | 「5.1.1」(107ページ) |  |
| a | 研究総括と親族関係にある。 | 該当なし□ |
| b | 研究総括と大学、独立行政法人等の研究機関において同一の研究室等の最小単位組織に所属している。あるいは、同一の企業に所属している。 | 該当なし□ |
| c | 現在、研究総括と緊密な共同研究を行っている。または過去5年以内に緊密な共同研究を行ったことがある。(緊密な共同研究の有無は、例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者、あるいは共著研究論文の執筆等、それぞれの内容から判断します。不明な点があれば問合せください) | 該当なし□ |
| d | 過去に通算10年以上、研究総括と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にあったことがある。“密接な師弟関係”とは、同一の研究室に在籍したことがある場合を対象とします。また所属は別であっても、研究総括が実質的に研究指導を行っていた期間も含みます。 | 該当なし□ |

※利害関係で明確に判断し難い項目が1つでもある場合には、必ず利害関係問い合わせ様式(<https://securekisoken.jst.go.jp/h29youkou_form.doc>)をダウンロードして必要事項を記載の上、ファイルを添付して送付先までお問い合わせください（送付先：rp-info@jst.go.jp）。

**○ 提出期限について**

締切間際はe-Radのシステム負荷が高く、応募に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、応募を完了するようお願いいたします。

**○ 各様式について**

提案書については漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、提案書に不備がある場合には不受理となる可能性がありますので、ご注意ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 主な確認ポイント | チェック欄 |
|  | e-Radへのデータ入力 | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式1 | 研究提案書 | 記載漏れはないか。e-Rad入力データとの不整合はないか。 | □ |
| 様式2 | 研究提案の要旨および研究提案者の主要業績 | PDFに変換された状態で、1.の部分は2ページ以内、2.の部分は1ページ以内か。 | □ |
| 様式3 | 研究構想 | PDFに変換された状態で、A4用紙6ページ以内か。 | □ |
| 様式4 | 論文・著者・特許リスト |  | □ |
| 様式5 | 他制度での助成等の有無 | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式6 | 人権の保護および法令等の遵守への対応 | 該当しない場合にも、その旨記述したか。 | □ |
| 様式7 | 照会先・その他特記事項 |  | □ |